

大きな浄化が起ころる前に

この銀河メッセージは光のエネルギーのかたまりです！  
頭で理解するのではなく、心で、魂で悟っていくのを  
助ける光のツールとして、ぜひご利用ください！

地球、太陽系、銀河宇宙のバランスと進化を

助けている大聖白色同胞団

（グレートホワイトブラザーフッド）と

地球の神々が属する聖白色同胞団

（ホワイトブラザーフッド）

からの重要メッセージ集！

〔新装版〕

# 悟って もっと アセンション

ホワイトブラザーフッドから超緊急の銀河メッセージ

A・ジョルジュ・C・R／高木友子



## 【新装版】序文

このたび『悟つてもつとアセンション』の新装版を出させて頂くことになりました。一重に読者の皆様方の深いご理解と、出版社並びに関係者の方々のご尽力によるものと、心から感謝を申し上げます。

『悟つてもつとアセンション』を筆頭にアセンションシリーズとして5冊の本が世に出てから数年立ちました。わずかこの数年の間にも社会や人々の意識は大きく変化してきたように感じます。

### 「悟つてもつとアセンション」の意味とは？

新装版の発行にあたり、この本のタイトル『悟つてもつとアセンション』の意味を今一度、振り返ってみたいと思います。

アセンションするためにはまず、「悟り」の段階があります。悟りイコールアセンションで

はありません。悟りはアセンションの準備段階と言われています。

さて、40年、50年前の日本人は仕事ばかりでなく、スピリチュアルな部分にも意識を向けて暮らしていたように思います。神々を信じる心もありました。信仰を通して、自然界の神々と繋がっていました。そのため、本人が意識していくなくても自然に悟りの道を日常の中で歩んでいました。物質社会を懸命に生きながら、人々は人生における様々な壁を学びと共に乗り越えていくうちに、自然に物事の法則を悟り、高まりの道を歩んでいました。それが私の記憶にある日本人の姿です。

そういうつたスピリチュアルな力、メンタルの力により、日本人は戦争、大地震、洪水といったものを力強く乗り越えることができたのだと思います。

時の流れの中で、多くの日本人は、社会が提供する「便利さ」と引き換えに、そのように悟りに向かう考え方、生き方、気づきや学ぼうとする意識や信じる心、スピリチュアリティを手放してしまったように感じます。

しかし、かつての日本人が持つていた高いゲノム、靈的エネルギーを回復し、悟りに向かう精神やスピリットを育てることは、これからやつてこようとする新しい問題を乗り越えるために、大変重要であると光の存在は伝えてきます。

アセンションは自然にやつてきません。地球は変化しても、自分を変化させるのは一人一人

の力です。悟つてアセンションシリーズは、現代を生きる私たち一人一人の悟りに向けて、宇宙の無条件の愛のエネルギーの中、鋭くも温かい大きな一条の光で、私たちに一つの方向性を示してくれるものと確信しています。

時代は大きく変化しつつあります。時代のエネルギーも大きく飛躍しようとしています。人も時代のエネルギーの変化に従つて、飛躍していく時の流れの中を生きてています。

## 変化する地球と人類の選択

シリーズの他の本の序文の中でも触れましたが、私たちの住んでいる宇宙は、善と悪、光と闇の二元性をベースとして靈的進化を目指すという大法則があります。

光の世界では、光の存在が光のプロジェクトを実現するために働いています。闇の世界では、闇の存在が闇のプロジェクトを実現するために動いています。闇の力が大きくなればなるほど二元性が強化され、濃密で重たい世界になり、アセンションから遠ざかります。

地球にも光の世界と闇の世界が働き、私たちの住んでいる社会でも、人の意識を通して光と闇が働いています。光の意識で振動している人には光の世界のサポートがあり、闇の意識で振動している人には闇の世界のサポートがあります。

これから地球は、何があつてもアセンションのプロジェクトに従い、進み続けていくでしょう。光の存在も地球もそのように選択したからです。でも人類は違います。それぞれの選択に任せています。

闇の存在は、ありとあらゆる手段を用いて人類のアセンションを阻止し、地球のアセンションのプロセスにストップをかけようとするでしょう。

最近、バーチャルリアリティを人の意識を通して創造しようとする力が働いています。日常のあらゆるところにA.I.化を推進しようとしています。それは人類の進みにとって何をもたらそうとしているのでしょうか。

一方、地球や地球を取り囲む環境は大きく変化し続けています。世界中で大規模な山崩れ、土砂崩れが次々と報告されており、日本でも雨が降ったわけでもないのに大規模な土砂崩れに見舞われたりしています。

また、大地に突然穴があく「シンクホール」という現象が世界中で報告されるようになつてからしばらく経ちますが、最近、北極、南極、シベリアなどで、氷床や永久凍土に次々と穴があく現象が出現しているそうです。地球が、エネルギー、つまり原子レベルで物性の法則、重力や磁場を本質的に変化させていくようになれば、そのような現象も不思議ではないのではと想像します。

また、最近木星が急激に変化してきたり、木星の第一衛星イオが無数の火山の爆発を伴い真っ赤に燃えているような状態に変化しているとのことです。木星はさほど遠くない未来に第2の太陽になると示されています。

上述のことは、気候変動、地球全体の火山、地震活動の活性化に繋がる地殻変動のプロセスと共に、地球で起こっている現象の一こまです。そのように、地球や宇宙も本質的に変化しつつあることを私たちにはつきりと示してくれるのですが、社会ではそのようなこと人々の意識が向かないように、大きな力が働いています。

光の存在の役割の一つは、「人類が光のプロジェクトと闇のプロジェクトを知り、この地球が大きく変容しようとしている時、光と闇の戦いが人類社会にどのように反映されているかを知り、光の道を選択するのを助けること」にあります。

光の道を選択する人が多ければ多いほど、人の意識を通して、光の存在が人類のために働くことができるようになります。同シリーズはその中で誕生したものです。

人類がしていること、私たちが常識と見なしていることの中には、光の法則とはかけはなれていることが沢山あります。光の存在は、人類社会の隅々まで光で照らし、歯に衣着せない形で、真実をはつきり伝えてくるので、訳している私にも耳の痛いことがしばしばあります。また、時折、部分的にダブることもありますが、存在

の意志を尊重することを選択しました。

各メッセージはそれぞれのエネルギーがあり、それを読む人の意識を高めるための一つの完成した光のツールであると伝えてきます。各メッセージには、訳者としての私には計り知れない光の意識とエネルギーが働いているようです。

ある方が、本を最初に読んだ時、半分も理解できなかつたけれど、最近急に読みたくなつて読み返してみたら本当によく分かつてびっくりしましたとおっしゃられました。腑に落ちるとはそういうことだと思います。人にはそれぞれの時間というものがあり、今までそのように言われるることは少なくなかつたように思います。

また、本を枕元に置いて寝るとなぜかよく眠れるという方がいらっしゃいますが（笑）、そのようにメッセージはエネルギーなので、頭で理解するものではなく、心で、魂で悟つていくのを助ける光のツールとして活用して頂ければ幸いです。

高木友子

## はじめに

自分が変われば周りも変わると言います。

それはその人の意識が変わった事でその人の放つエネルギーが変化したので、そのエネルギーに対する周りの反応が変わるからです。しかし、意識を変えるといつても現実には簡単ではないように思います。意識とはどのようなものでしょうか。

現在、多くの人が人類は未来に向かう大きな分岐点に立たされているのに気づいています。その背景として、地球を取巻くエネルギーの大きな変化があります。

例えば、二〇〇〇年前後から太陽が本質的に変わり始め、地球に降り注いでくる太陽光線は大きく変化してきましたが、ごく最近まで大多数の人はその変化に気づきませんでした。

しかし、太陽光線が非常に鋭さを増した二〇一三年、今まで気づかなかつた人も太陽の異常な眩しさや光線のきつさを口にするようになりました。それでも太陽は同じだと思っている人もいます。

太陽の光の変化は太陽の次元上昇によるものですが、同じ太陽を見てもその変化に気づく人、気づかない人があります。

それは意識によるものです。現象が存在してもそれをキャッチするのは人の意識だからです。

太陽の変化は太陽系全体のエネルギーを高め、アセンションへとシフトさせていくための大きな現象の一つですが、従来のコンセプトに基づいた人類社会では、それを認識しようとする意識の変化が全体的に起こっていません。

アセンションと言うと、ハルマゲドンとか地球や人類の滅亡とかを連想している方も多いようですが、アセンションは決してそのようなものではありません。

アセンションとは今の時代に描かれた神聖なプロジェクトであり、地球や人類、個人がより高い段階へ向かうための調整のプロセスです。

そのプロジェクト実現に向けて銀河系全体でコスミックエネルギーが増量しています。

地球は、一九八七年のハーモニックコンバージエンスにおいてアセンションに向けて大きく舵を切り、一九九五年以降のフォトンエネルギーの活性化と共に、地球のアセンションのプロセスが始まりました。

そのため現在、地球には、タキオン、グラビトン、ポジトロン、クオーケなど素粒子レベルのコスミックエネルギーや太陽を中継とするフォトンエネルギーが大量に降り注いでいます。

そういった宇宙的背景の中、地球のNS極の移動も二〇〇〇年頃から本格的に始まり、二〇一二年に入り太陽のNS極の物理的大変化も報告されています。

太陽や地軸の変化に伴い、世界中でゲリラ豪雨、大洪水、ハリケーンや台風の大型化、地震や火山活動の活性化、海底の隆起や昔の陸地の出現、深海や潮流の異変、竜巻、突風、気温や天候の激変、四季の消滅、湖や川の枯渇、動植物の生態系の変化など、数々の現象が起こっています。

そればかりでなく、日本を含む地球の様々なところで地殻変動の兆候が見られるようになり、様々な観測データが報告されています。

しかし、これは全てエネルギーの変容によりもたらされる地球の物理的側面の変化のプロセスです。では、人はどうでしょうか。

私たちは長年従事しているヒーリングの世界を通して、人々の意識や行動の変化、鬱やパニック、靈的問題の急増と共に、特に最近、起床時体がだるい、異常な眠け、不眠、動悸、疲労感、めまい、頭痛、目の痛み、関節や筋肉の痛みといった症状を訴える人が増えているのを感じます。

それはフォトンを中心とするエネルギーによる変化の始まりです。

太陽から来るフォトンエネルギーは頭頂から眉間、各チャクラへ、そして自律神経である交感、副交感神経へとストレートに浸透していきます。多くの人がこの周波数の高いエネルギーを吸収しつつも、このエネルギーの変化に準備できていないため、様々なリアクションを起こ

しているように感じます。

順応していくためには、新たなるエネルギーに対して意識レベルでの受け入れ準備が必要です。

一方、このエネルギーの変化の中、現実社会がお金、物、経済だけを中心に進めば進むほど、心が満たされず、自分の本質、自分に正しい生き方、あり方を模索する人も増えていきます。

しかし、そういった内から湧き上がつてくる衝動に対してもうして良いか分からず、現実社会に失望している人も少なくないようになります。自分を変えたいのに何をどう変えたら良いか分からず、変化と言うが何がどう変化しているのか分からず、現実の、自分の、社会の何が正しくて間違っているのか分からずと言います。

また、しばらく前から、インディゴチルドレン、クリスタルチルドレン、ダイヤモンドチルドレンなどといった言葉が聞かれるようになりました。

うちの子はよその子と比べると変わつていてどうしたら良いのかという質問もよく耳にします。そのように時代は着実に変化しつつあるのですが、社会にその変化を受け入れる意識の準備ができるていないのも現実です。

私達自身、アセンションとは現実にはどういう様相を呈しながら実現していくのか、現実を生きながらアセンションに向かって進んでいくためには何をしなければならないのか、自分の

本当の姿を見つけるにはどうすれば良いのか、意識を上げる、変えるとはどういう事なのか、一般社会の常識を超えてある宇宙の法則や意思とはどんなものなのか、どこに真実があるのか、それらを真剣に探し求めていました。

そうしているうちに、五年ほど前から聖白色同胞団を中心としてマスターと呼ばれる光の存在たちが現れるようになり、私達の内なる心の叫びに応えてくれるかのように、アセンションに向かうためのメッセージを次から次へと伝えてくれるようになりました。

もちろん、メッセージは私達個人のためだけではなく、それを望んでいる全ての人々と共有するためのものです。

アセンションとか二〇一二年とか言っていたのに、地球も社会も何も変わっていないじゃないかと思っている人も少なくないでしょう。しかし、個人にとってアセンションは外の現象ではなくて、各人の中で始まります。

自らの意識、肉体、メンタル、感情、靈的レベルを更に高いレベルへとシフトさせていく事、それは、自らの放つエネルギーの周波数を高める事を意味します。自分のエネルギーを変化させる事は、決して容易なプロセスではないでしょう。

ここに一つ、一人一人に対する大きな挑戦があります。

それは、今まで地球を支配してきて、これから更に強化されようとしているコントロールマ

トリックス（＊巻末語彙集参照）からいかに抜け出し、自由に考え、自由に感じ、自由に創造し、自由に生きる事を手にいれる事ができるかという事です。

地球は天の川銀河系の中でも、ネガティブ性が九〇%の二元性の最も高い惑星の一つだと言われています。地球には既存の社会制度や常識、そこに縛られている大衆意識に人々を閉じ込めておこうとするコントロールの力が働いています。そういうふたコントロールマトリックスに縛られていれば、靈的自由を得る事ができず、新しい段階へシフトする事はできません。

アセンションは頭で考える事ではありません。アセンションはエネルギーであり、波動であり、その周波数です。論理的思考ではアセンションは理解できません。私達の住む三次元世界を超えてある次元へのシフトだからです。

アセンションは感じる事です。未知なるアセンションに対して意識を開く事です。

現実社会に地に足をつけながらアセンションに向かって進むためには、アセンションをファンタジックに捉えるのではなく、アセンションの現実の姿、アセンションのプロセスを社会に根ざした形で理解し、物の見方や生き方、意識を変えて地球の変化を理解し、それについていく事が必要になります。

この本は人類のアセンションを助けようとしている光のマスターたちからの助言集ですが、一つ一つの助言の中には現実を読み解く沢山の真実や鍵が集約されています。

意識のシフトの第一歩は、意識の更に向こうにある世界、目に見える世界の後ろにある真実に触れる事から始まります。

この本を読み終えた時、物事の視点が変わっているかもしれません。

### 聖白色同胞団（ホワイト・ブラン・ザーフッド）とは

地球の神々、光の存在の多くは聖白色同胞団に属しています。

銀河宇宙の大聖白色同胞団（グレートホワイト・ブラン・ザーフッド）と地球の聖白色同胞団があり、地球、太陽系、銀河宇宙のバランスと進化を助けている最も重要な役割を果たしている大きな光の聖団の一つです。

以下、聖白色同胞団の概要です。

\*

地球におけるこの同胞団は一八四〇万年ほど前、当時金星のプリンスだったサナト・クマラにより創設されました。

その時、沢山のアーフトウルス（牛飼い座）出身の存在も地球の進化を助けるために同胞団

に参加しました。

それ以来、同胞団は、地球及び地球に存在する全てのものの靈的進化を助けるために働いています。

現在、ゴータマ、マザーテレサ、セント・ジャーメインなど地球で転生の経験を持つ存在、ヴァイアムス、マハトマ、ラザリス、クリヨン、シュタレールのように、この惑星の次元上昇を助けるために他の星、惑星や他の銀河宇宙から積極的に参加している存在も含め、何百万という高次の光の存在が参加しています。

世界はもとより、日本の高き神々（＊巻末語彙集参照）の中にも聖白色同胞団出身の存在もいます。

彼らは現在地球のアセンションのプログラムに従い、他の次元で働いている銀河のヒエラルキー（＊巻末語彙集参照）や、内部地球に存在する数々のエーテルシティ、光のテンプルの存在等と協調しながら使命を遂行しています。

人類に対しては、人々のネガティブエネルギーなどの浄化、様々なコントロールマトリックスからの人々の魂や意識の開放、癒しなど、進化のプロセスを促すために大きく動いています。誰にでもガイド（守護霊や指導霊）がいますが、人が意識を開き、このような高次元の働きを受容する事ができるよう導いています。

聖白色同胞団は内部地球のシャンバラに存在し、その中心と言われたアガルタシティは、イナンナーサンが存在している地球の中心、六次元／八次元の次元空間に存在（＊巻末語彙集参照）しています。

しかし最近、聖白色同胞団の中心は内部地球の多次元空間にあるアマゾンの一四四光線のテンプルに移りました。

太陽系の守護をその形成時から担ってきた銀河のコマンド、アシュター・シェランの地球における基地も現在一四四光線のテンプルにあり、地球のアセンションに向けて聖白色同胞団と協力しています。

聖白色同胞団を創設したサナト・クマラは現在、シリウスのセントラルサン「アルファ・オメガ」で活躍しています。

\*

以下のメッセージ集は、ジョルジエのメンターを介して聖白色同胞団に属する存在を中心には、地球と人類のアセンションのために彼らと協調して使命を遂行しているコスマスや内部地球の存在から伝えられたものです。

## メッセージ——啓示が意味するもの

メッセージ、すなわち啓示とは何のためにあるのでしょうか。

それはメッセージを聞いたり読んだりする人の意識を開くためです。

啓示はエネルギーです。ですから、啓示を通してあなた方はエネルギーを受け取ります。

そのエネルギーは、言葉で表現された神の叡智です。エネルギーは、言葉や音という形を通して伝えられます。

エネルギーは頭へ、頭の論理的部分へ、そして精妙なエネルギー・フィールド、潜在意識、無意識の世界へと広がっていきます。

だから、皆さんが真剣に啓示や教えを聞いたり読んだりする事はとても意味があるのです。

言葉という形で伝えられるエネルギーに対して心を開こうとする気持ちがあれば、言葉で分からなくともエネルギーという形で、自分の心やスピリットが理解していくでしょう。

努力を続けていけば、遅かれ早かれ次第に啓示の中身も理解されていく事でしょう。

——聖白色同胞団より